

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年まで「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年までの取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年までにおいて「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間のうち35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」のうち35時間を「英語活動」に充てています【資料1】。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作動画教材

『OK English(約8分の動画教材)』【資料2】を視聴することで、週1コマの授業時間としています。動画の内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともに動画

【資料2】OK English



を繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

3 本校の取組

六ツ美北部小学校では、毎日12時10分から12時20分を「六北タイム」の帯時間としています。第1学年から第4学年までの児童は、DVDを視聴し、流れてくる英語に続けて、アルファベットや単語、英文を声に出して話しています。学級担任は、楽しみながら英語活動を行えるよう、児童の実態に合わせて、身振り手振りを促したり、難しい部分を繰り返し練習する時間を設けたりするなどの工夫をしています。第1学年と第2学年では、ALT（Assistant Language Teacher）による授業も年5回程度行い、歌やゲーム、手遊びなど、英語に慣れ親しむ活動を中心に行っています。

